



100年
1922-2022

こんにちは

-No.53

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



教育を儲けの道具にしないで…

以前にも取り上げた「都立高校入試のスピーキングテスト」の導入。これは子ども達の学習に、大きな弊害となると感じています。

現状、授業時間が足りず、ペースが速くてついていけない子がいる実態を伺います。言葉として発するのための「思考」の学習が保障されず、結果として見える「話す」ことだけがテストされ、上辺だけの授業・評価につながりかねません。

塾やテスト実施事業者は、テスト対策を行っており、民

間模擬テストも1回3,000円ほどで行われているそうです。そうではなく、家庭の経済状況に左右されず、子ども達が安心して楽しく学べ、過ごせる学校教育が必要です。

こうした中で市は、学校施設建替え時の計画として、地域の公共施設を統合したり、民間の事業も取り入れたり、国が示す「稼ぐ校舎」を実現させようとしています。

学校や教育をお金儲けの道具にすることは大反対です！



やっぱり！ 必要なのは少人数学級

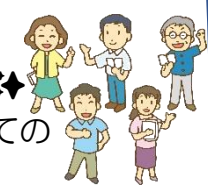
市内の特別支援学級（自閉症・情緒障がい）に伺わせていただきました。清瀬特別支援学校の先生の協力の下、気持ちが高まってしまったときに、落ち着けるスペースを用意するなど、個々のペースで無理なく学習できる施設の工夫も印象的です。

東村山の特別支援学級では、「障がい特性や実態を理解し、学習環境や指導形態を工夫しながら一人ひとりの児童・生徒の能力の伸長を図っていくこと」を配慮する、とさ

れています。

これは、障がいの有無ではなく、自分らしく安心して過ごすために大切な配慮ではないでしょうか。ある先生が「学力向上よりも、自己肯定感を伸ばすことの方が大事かと…」と、おっしゃっていました。どの子にも共通する大切な視点です。

先生を増やして
少人数学級で全ての
子の応援を
先生達の過度な仕事量
の見直しを



活動報告・今後の日程

7月24日 国民平和大行進

猛暑の中でしたが、市役所から全生園までの道のりを歩きました。「何をやっているのかなあ？」と、目を丸くしながら手を振ってくれるお子さんたち。みなさんが安心して暮らしていける平和な世界を。核兵器のない世界を。



7月28日 市議団5人で 6月議会報告宣伝

5人の共産党市議団で、市内全13町を回りました。私は補正予算の問題、みどりの問題を中心にお話ししました。

9月議会日程予定

今議会では、2021年度の決算審議がおこなわれます。

- 8月29日 議会初日
- 31日 一般質問 (山田・渡辺・さとう)
- 9月 1日 一般質問 (浅見・山口)
- 5日 一般質問
- 7~9・12・13日 常任委員会
- 15・16・20・21日 決算特別委員会


傍聴を希望される方は、市役所5階へお越しください

6月議会
一般質問から

どうする？全生園の未来

《全生園の将来構想》

私が議員となったばかりの頃、入所者の方から「人権の森構想」はどうなっているの？と尋ねられました。そこから新たに学び始めたのですが、市の具体的な計画や方向性を示せないまま身近な方々が亡くなっていく現状をまのあたりにし、時間がないことをヒシヒシと実感しています。

市は、2002年「人権の森構想」を立ち上げ、2009年「いのちとこころの人権の森宣言」をしています。

そこで、市の方針を質問すると「2022年3月に将来構想委員会を設置した。今後の予定や詳細等もこれから検討する」と答弁。

驚きです。この20年、どうしてきたのでしょうか。以前、「自分たちが居なくなった後どうなるのか計画すらわからない…」という入所者の方の不安がありました。今は多くの方の認知症発症が進み、「目の前の生活や介護、健康のことしか考えられない…」との切実なお話も伺います。

入所者 117名
平均年齢 87.6歳
(5/1 時点)

過去の議会でも「時間がない」と答える市長。共に考えられる時間は、ますます限られてきています。どのように残していくのか。市民の皆さんのお力もぜひ、お貸してください。

●夏休み企画のご案内です● **中央公民館 1階**
ハンセン病問題を知る企画～じんけんのもり～
8月2日(火)～17日(水) 9:30～19:00

※月曜日は休館日。2・9日は13:00～


戦争と平和を考える 「世界に核兵器はいらない」

「♪八月の青空に
今もこだまするのは・・・」

この時期になると必ず口ずさみたくなる一曲。

『ヒロシマの有る国で』

笠井亮衆議院議員は、日本共産党の代表として、6月21日、核兵器禁止条約の第1回締約国会議に、8月1日、核不拡散条約の再検討会議に参加しました。日本政府も禁止条約に参加すべきです。

世界の流れは、なんとんでも
核兵器廃絶です。  日本政府に核兵器禁止条約
の署名・批准を求める署名

憲法改悪反対署名に 取り組んで⑥



「憲法を変えるって？まさかあ…」
今回は、88歳の方との対話です。

選挙で改憲勢力が2/3の議席を占め、岸田首相が早期の改憲発議を示していることをお伝えすると、練馬での空襲体験を話してくださいました。


地域や家庭で防空壕を作り、そこに隠れたこと。職人ではなく手作りの防空壕では、生き埋めとなった方が居たこと。逃げ道を塞ぐように、道路の真ん中を陥没させる攻撃がおこなわれたこと。敵機が攻めてくる恐怖など、亡くなる人をうらやましく思い、「死にたい…死にたい…」と、苦しみながら生きてきたこと。山本五十六の葬儀に足を運び、「こんなに強い人が死んでしまうのだから、日本は負けるのかもしれない…」と子どもながらに考えたことなど。


次々と蘇る過去に「あんな思いはしたくない！」と、署名に賛同されました。





署名にご協力をお願いします！

今回ご紹介した内容の署名用紙は、お声かけいただけましたらいつでもお渡しいたします。インターネットから署名も、用紙の印刷もできますので、皆さんの声を署名に託して、お寄せください。

憲法改悪を許さない
全国署名 

都立高校入試
スピーキングテスト
導入中止署名 

❖山田たか子
ツイッター 

❖いま **しんぶん赤旗** がおもしろい！
日刊紙 月3,497円(一部売130円)
日曜版 月930円(一部売240円)
日刊紙 電子版(月3,497円) 

東村山民報 2022年8月号外 山田たか子活動紹介です。
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5